

平成 24 年 9 月 20 日

三木町長 筒井 敏行 殿

三木町百眼百考会議  
にぎわいづくり部会 座長 黒川 宏

## 提 案 書

次のとおり、提案します。

### 記

#### 1 提案する施策の名称

三木町にぎわい創出プロジェクト

#### 2 提案する施策の内容

##### (1) 三木町公式マルシェ（産直市場）の開催

以下のとおり、三木町公式マルシェを開催する。

##### ○ 開催趣旨

ふれあい・交流の場を創出するとともに、地域密着型の地産地消を促進し、地域活性化を図る。人と人との交流を目的とするため、基本的には営利を重視しないものとする。

##### ○ 出店形態

テント・車の荷台等を利用する。

電気・ガス等調理に必要なものについては、一切提供しないものとする。

##### ○ 出店者

交流人口を増やすことを目的に、三木町近郊の人による直売であれば誰でも可とし、生産者の顔が見える、「生産者による直接販売」を行う。

##### ○ 出店内容

地産のものであれば一次産品、二次産品、飲食物などを問わず何でも可とする。ただし酒類は不可とする。食料品を販売する場合は、食品衛生法をクリアできれば可とする。

##### ○ 開催日・頻度

原則として日曜日の午前中とする。

また、町の公式マルシェとしての定着を図るため、まずは月に 1～2 回の開催とし、実施状況に応じて頻度の増減を検討する。

##### ○ 運営主体

事前に準備委員会を立ち上げる。準備委員会は、規約を作成するとともに、出店者で構成する実行委員会の設立準備を行う。実行委員会は、実際の管理・運営を行う。実行委員会

は、出店者を広く募れる、人脈が多く、顔が広い人がトップに立つことが望ましい。出店者（実行委員）の数ははじめは少人数でも良い。本マルシェの開催趣旨に賛同できる人のみで構成し、徐々に人数を増やしていけば良い。

○ 開催場所

町の公式イベントとするため、公共施設で開催の方が望ましい。本提案では、公共施設で開催する場合の2つの候補地のメリット及びデメリットを示す。

案1 文化交流プラザ東駐車場（駐車台数：約70台）

メリット	・三木町の中心部であるため、集客力がある。
デメリット	・近隣店舗と出店内容が競合する可能性がある。 ・プラザのイベントに来る人の駐車スペースが少なくなる。

案2 サンサン館みき東駐車場（駐車台数：約45台）

メリット	・近隣に競合店がない。 ・サンサン館の教室に来た人が立ち寄れる。
デメリット	・幹線道路から外れた場所にあり、アクセスしにくい。 ・サンサン館の教室に来る人の駐車スペースが少なくなる。

その他の候補地については、準備委員会及び実行委員会で検討する。

○ ネーミング（案）

「マルシェ 三木まんで願。」「いきいきマルシェ三木」

「三木グリーン市場」「三木印良品市場」

「マルシェみき（仮称）」とし、定着したら町内の学生から公募 など

三木町は、準備委員会及び実行委員会の事務局となり、マルシェの開催に必要となる場所及び備品を提供する。

(2) 三木町公式ゆるキャラの作成

下記のとおり、三木町公式ゆるキャラのデザインの公募を行い、三木町の観光大使としてマルシェをはじめとするあらゆるイベントに参加するゆるキャラを作成する。

○ テーマ

獅子舞（子どもにも親しんでもらえるもの）

○ 応募者

県内在住者

○ 審査

三木町関係者により審査し、採用者には懸賞金を贈呈する。

採用されたデザインは、香川県デザイン協会や町内のデザイナーなどに、立体物としてのデザインを依頼する。

ゆるキャラが完成したら、ネーミングを町内の小・中学生から公募する。

なお、ゆるキャラの管理は町が行うものとする。

その他、視察来庁者などに進呈するための公式ゆるキャラグッズ（ストラップ等）もあわせて作成する。

### 3 現状の課題（提案の目的及び理由）

本町は現在、「獅子舞フェスタ」に代わる秋大祭「獅子たちの里 三木まんで願。」の開催を控え、新たな町の顔づくりの第一歩を歩んでいるところである。このまつりが、本町のシンボリック的存在となることを期待するが、核となるイベントが少ない現状は否めない。三木町を広域的にPRしていくためにも、若者、ファミリー層をターゲットとし、「三木町といえばこのイベント」というものを確立することが重要である。その具体化に向け、近隣のマルシェや物産展の視察に行ったところ、特に印象に残ったのが、さぬき市の造田地区で開催されている「造田ふれあい市」である。一般的に開催されているマルシェや物産展が、販売することを目的としているのに対し、「造田ふれあい市」は販売者とお客さん、また、販売者同士がふれあい、交流するために集まっている、非常にあたたかく和める場所だった。三木町でもそのようなマルシェを開催し、それが町のシンボリック的存在となるとともに、昨今の問題となっている地域のつながりの希薄化を解消できれば素晴らしいと考える。

また、広域的な集客力が弱いとともに、情報のPR不足も問題である。イベント情報などを発信する上で、お客さんの目を引くゆるキャラを作ること、三木町に愛着を持ってもらうきっかけとなれば良いと考える。

### 4 提案する施策の実施により予想される効果

- ・ ふれあい・交流の場の創出（交流人口の増加）
- ・ 地域密着型地産地消の促進
- ・ 町の情報発信力の向上

### 5 提案する施策の実施に要する費用の額及び内訳

#### (1) 三木町公式マルシェ（産直市場）の開催

項目	数量	単価	計
(備品関係)			
のぼり	20本	3,500円	70,000円
出店者用パラソル	15本	5,000円	75,000円
出店者用簡易テント	2張	98,000円	196,000円
ウェイト（のぼり・出店者パラソル用）	35台	2,000円	70,000円
ウェイト（出店者簡易テント用）	12台	4,400円	52,800円
出店者掲示板	1台	46,000円	46,000円
客用テーブル・イス・パラソル	2台	15,000円	30,000円
事務用机	2台	6,800円	13,600円
(広報関係)			
宣伝費（四国新聞折込チラシ）	4回	200,000円	800,000円
宣伝費（リビングたかまつ）	4回	70,000円	280,000円
w e b 対策費	1式	94,500円	94,500円
小計			1,727,900円

(2) 三木町公式ゆるキャラの作成

項 目	数量	単 価	計
デザイン料（懸賞金）	1 式	200,000 円	200,000 円
デザイン料（委託料）	1 式	100,000 円	100,000 円
ゆるキャラ作成費	1 式	1,000,000 円	1,000,000 円
ゆるキャラクリーニング代	4 回	35,000 円	140,000 円
グッズ作成費（2,000 個）	1 式	450,000 円	450,000 円
小 計			1,890,000 円

6 その他参考資料（添付資料の名称）

造田ふれあい市の概要